

報道関係者 各位

放送批評懇談会

**発表！2021年1月度ギャラクシー賞月間賞**

放送批評懇談会が日本の放送文化の質的な向上を願い、テレビ、ラジオの番組、関係者を顕彰する「ギャラクシー賞」。ことしで58年の歴史を誇ります。

ギャラクシー賞テレビ部門では、「ギャラクシー賞」活動の一環として、毎月、自主的に番組を推奨する「月間賞」を選定しております。今月の月間賞を別紙のとおり発表いたしますので、貴媒体でお取り扱いのほどお願い申し上げます。

ギャラクシー賞テレビ部門は、この日常視聴に基づく「月間賞」と、各社からの応募作品を併せて審査を重ね、毎年の受賞作を決定いたします。2021年6月初旬開催予定の贈賞式にて、大賞をはじめとする各賞が決定、表彰されます。

今後の選考にもご注目いただければ幸いです。

●放送批評懇談会について：1963年の発足以来、評論家、ジャーナリスト、マスコミ研究者などを会員に、各種の活動を展開しております。「GALAC（ぎやらく）」の編集・発行、優れた番組・CMを顕彰する「ギャラクシー賞」の選考・運営、メディア界の動きを解説するセミナーやシンポジウムの開催などを行なっています。

●過去の受賞作をお探しの場合は「ギャラクシー賞データベース (<https://houkon.jp/galaxy-database/>)」をご活用ください（掲載内容：作品名、放送局・制作社名、制作者、出演者、受賞理由など）。

放送批評懇談会

ASSOCIATION OF BROADCAST CRITICS

<お問い合わせ先>

NPO法人 放送批評懇談会／担当：福島
〒160-0022 新宿区新宿 5-10-14 中村ビル 2F
Tel：03-5379-5521 Fax：03-5379-5510
kondankai@houkon.jp <https://houkon.jp/>

放送批評懇談会



2021年1月度ギャラクシー賞月間賞

岸辺露伴は動かない

12月28、29、30日放送 22:00~22:50 日本放送協会 ピクス NHKエンタープライズ

独特な美意識に貫かれた奇想天外な原作の世界観を、こだわりぬかれた美術や演出で見事に再現。小林靖子による脚本も原作のエッセンスを的確に抽出していた。主演の高橋一生を筆頭に役者陣もハマリ役ばかり。中でも森山未来は、その身体能力を最大限に生かし、違和感丸出しのキャラクターを見事に演じていた。

家ついて行ってイイですか？ 4時間半スペシャル

1月6日放送 18:25~22:54 テレビ東京

イノマーの闘病生活から最期の瞬間まで密着したVTRが凄まじかった。このVTRを撮影したのは番組とは無関係の上出遼平ディレクターだが、番組が葬儀の日のパートナーに密着したことをきっかけに放送。そのフレキシブルな英断が光る。「命を使い切って死んだ」というパートナーの言葉どおりの死に様を余すところなく映し切っていた。

ETV特集「エリザベス この世界に愛を」

1月23日放送 23:00~24:00 日本放送協会 テムジン NHKエンタープライズ

在留資格を持たず入管施設に收容された外国人たちに呼びかけを続けているナイジェリア人女性を追ったドキュメンタリー。日本の入管施設の実態がここまで酷いとは知らなかった。何年も収監されて精神を病んでいく人々もいる。本人も仮放免で難民認定審査を受けているというが、終盤の病気の赤ちゃんのために神に語りかける言葉が圧巻。

逆転人生「貧困の連鎖を断て！ 西成高校の挑戦」

1月25日放送 22:00~22:45 日本放送協会

子どもの貧困という社会問題に「10年連続就職内定率100%」というひとつの答えを出した西成高校の挑戦は、この国の未来への逆転劇。親から子への貧困の連鎖から抜け出す「反貧困学習」のリアルは、「学校とは」「教育とは」をめぐる目からウロコの知見に溢れる。10代の可能性を番組のテストで生き生きと見せてくれた。

★詳細は月刊誌「GALAC」2021年4月号に掲載します